

# まちのわだい



## 冬の栂水に遊びに行こう！

### 栂水高原スキー場開き祭

冬の到来を告げる栂水高原スキー場開き祭が、12月22日に開催され、大勢のスキー客や観光客で賑わいました。

スキー場開き祭では、神事を執り行い、今シーズンの安全を祈願した後、パネル滑走や宝探しなど様々なイベントを行いました。また、リフトが無料開放されたゲレンデでは、スキー・スノーボード客らで大賑わい、今シーズンの栂水初滑りを堪能しました。

今シーズンの降雪量は例年並みで、ゲレンデコンディションは上々です。ぜひ、栂水高原スキー場でウィンタースポーツを楽しんでください。



パネル滑走でスキー場の幕開けを告げる



豪華景品も当たる宝探し

## 地元の伝統行事を子どもたちへ伝える

### 日光小学校とんどさん

日光小学校で1月14日、今年の無病息災を願うとんどさんが行われ、参加した児童は日本の伝統文化を肌で感じました。

小学校前の公園には、ボランティアの手によって高さ10mを超える大きなとんど飾りが組まれ、集まった児童たちは、栃原集落の榎田文さんから、この行事の由来や供え物について説明を受けました。

とんど飾りが燃え始めると児童たちは、竹の先に挟んだ書初めを炎の中に入れていきます。これは、書初めの灰が空高く舞い上がるほど、字が上手になるといいます。えから行われるもので、児童らは書初めの灰が煙に乗って舞い上がると歓声をあげていました。



書初めを燃やし、空に飛ばす児童



地元のボランティアによって組まれたとんど飾り

近年とんどさんは簡略化が進み、昔のよう

に盛大に行う地域が少なくな

っています。日光小

学校のとんどさん

は、地元のボラン

ティアの手によっ

て、子どもたちに

受け継がれていま

す。

## 火災ゼロの町を目指して

### 伯耆町消防団出初式

今年一年の無火災・無事故を願い、防火意識の高揚などを目的に実施する、伯耆町消防団出初式が1月12日に開催されました。

初めに農村環境改善センターで式典が行われ、永年勤続者への表彰状伝達や、森安町長や木村消防団長などがあいさつしました。

式典終了後、分列行進や一斉放水を行い、防火を訴えました。

今年も町民一人ひとりが火災予防に努め、火災のない伯耆町にしましょう。



団長から表彰状を受取る団員



全団員による分列行進

## 拉致問題について考える

### 第9回ひまわりセミナー

町が主催する人権啓発講座、ひまわりセミナーが1月15日、溝口公民館で開催され、およそ50人が参加しました。

この日の講座は、「拉致被害者の人権、家族の思い」をテーマに行われました。初めに鳥取県総務部人権局の宮田係長が、拉致問題の概要や解決に向けた国や県の取り組みを紹介しました。

続いて、米子市の松本孟さん(はしも)が講演を行いました。松本さんの妹京子さんは、昭和52年10月、編み物教室に行くとき自宅を出たまま姿を消しました。その後の目撃情報や調査で、北朝鮮によって拉致されたことが判明。正式に拉致被害者として政府に認定されました。

政府が認定した未帰還の拉致被害者は、全国で12人におよび、その家族は今も奪還を求めて闘っています。松本さんもまた、妹の帰りを信じて、拉致被害の実態、家族を奪われた悲しみを各地で訴えています。



拉致家族の思いを伝える松本さん



拉致の実態について熱心に聞き入る参加者